

○新規職員採用について

Q. 定員管理の適正化について、23年度に20名の新規採用とあるが類似団体等と比較してどうか。

A. 適正化計画職員数を、平成27年度に230名とし、現在、年齢別の空洞化、また地方分権化等による作業の増加に伴い、今後は有資格者も採用する予定である。

〔総務部長〕

議席2番 飯田 進 議員



○境町の教育現場の現状と課題について

Q. 校舎内外の安全点検並びに児童・生徒の登下校時の安全対策はどうか行われているか。

A. 安全点検については各小・中学校で毎月先生方が危険箇所の実態把握に努め、教育委員会に報告・対処している。登下校時の安全対策については、児童・生徒の交通安全・防犯に対する意識高揚の為に校内指導を実施し、また安全確保の為に保護者会・地域住民・関係機関の見守り等のご協力を頂いている。

〔教育長〕

○児童・生徒のいじめ、不登校等の現状と指導体制は。

A. 平成21年度のいじめと認められる件数は、小中あわせて9件の報告が

あり、教職員が状況把握に努め、児童・生徒の指導や家庭訪問による保護者への報告・指導を行い、いじめ解消に努めている。不登校については減少傾向にあるが、学校生活に対応できない児童生徒の居場所づくりや、教育相談のための適応指導教室への在籍や通級指導等による学校復帰の支援をしている。

〔教育長〕

Q. モンスターペアレントの実態と学校側の対応は。

A. 現在のところ、境町では該当事案は確認されていないが、学校教育の基本は、保護者との信頼関係の構築であり、今後も研修会等を実施するなど、よりよい保護者との信頼関係を維持できるよう努めていきたい。

〔教育長〕

Q. 電子黒板の活用や緊急注射等新たな事項へ教職員は対応できているか。

A. 電子黒板については、十分に使い慣れる為の校内研修を積極的に実施するよう指導する。町内に緊急注射を必要とする子供の報告はないが、今後該当する事例に対応できるように検討する。

〔教育長〕

議席9番 内海 和子 議員



○事務事業について

Q. 各種推進委員会や審議会等の位置づけはどうかになっているのか。

A. 委員会、審議会とも地方自治法に基づいて位置づけられている。推進委員会は事業の具体的な推進をするためで、関係者や有識者を以て設置される。

〔総務課長〕

Q. 町長が委嘱する推進委員会はどの位あり、どういう根拠でなされているのか。

A. 町長の委嘱は14団体で、町が定める要項や規則に基づいている。

〔総務課長〕

Q. 内規はどのような過程で作られるのか。

A. 行政機関内部で統一した事務処理を目的に担当グループで作成される。

〔総務課長〕

Q. 職員の研修はどのような内容で、どのくらい行われているのか。

A. 茨城県自治研修所が主催する階級別研修に20名が参加。地方自治講座表現力スキルアップ講座、危機管理講座に3名参加。また町独自の研修としては「境町職員の心得」「親しまれる公務員とは」「境町総合計画」等を民間講師や町長が行っている。

〔総務部長〕

○高瀬舟運航について

Q. 町のシンボルとして継続しているさかい丸のPR策は何か。

A. 境町ホームページ上で「いばらき圏央道沿線ナビ」にわかりやすく掲載している。遊歩道などへの車進入禁止については関係機関と協議をする中で実施したい。

〔産業建設部長〕

議席7番 田山 文雄 議員



○産後のうつ病の予防について

Q. ひとつの提案として、読み聞かせのための絵本をプレゼントをしてはどうか。

A. 良い提案なので、早速担当者に検討させたい。

〔町長〕



○学校図書について

Q. 境町総合計画では、学校図書室の充実を図るため、計画的な図書購入を推進とあるが、現状と計画について。

A. 中学校では標準冊数に達していない状況にあり、子どもたちの教育環境の充実のために、早い時期に標準冊数に達するよう図書の充実を図りたい。

〔教育次長〕

○子宮頸がん予防ワクチンについて

Q. 子宮頸がん予防ワクチンについては、3月定例会で質問もし、今定例会の町政報告に検討とあったが、具体的内容について。

A. 今年度で中学3年生と2年生を対象として行い、来年度に中学2年生と1年生を対象とする計画で現在検討している。

〔民生部長〕

Q. 町の将来的な組織機構の考えについて。

A. 「境町組織検討委員会」において、定員適正化計画も含めた検討に取り組んでいる。

〔総務部長〕

請願・陳情 審査結果

○「選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正」に反対を求める意見書提出に関する陳情 [不採択]

陳情者

取手市桑原512番地1  
大橋幸雄ほか4名